

## 令和7年度「伝統工芸の匠」プロフィール

### 【匠候補者】

- 1 産地 庄川挽物木地
- 2 氏名 こにし こうよう  
小西 弘洋
- 3 生年月日 昭和8年11月11日生 91歳
- 4 勤務先 小西弘洋木工芸（砺波市庄川町青島2306）
- 5 略歴等
  - ・ 中学校卒業後、父 栄治氏より指導を受けて木地師になり、40歳で独立
  - ・ 昭和45年～令和元年 庄川木工協同組合・庄川木工挽物会 会員
  - ・ 昭和47年 庄川挽物木地 伝統工芸士 認定
  - ・ 昭和53年 日本工芸会正会員 認定



### 受賞歴

- ・ 昭和48年 日本伝統工芸富山展 北日本新聞社賞 受賞
- ・ 昭和49年 日本伝統工芸富山展 高岡市教育委員会賞 受賞
- ・ 昭和50年 日本伝統工芸富山展 北日本新聞社賞 受賞
- ・ 昭和51年 日本伝統工芸富山展 富山県教育委員会賞 受賞
- ・ 昭和52年 日本伝統工芸富山展 富山県教育委員会賞 受賞
- ・ 昭和53年 日本伝統工芸富山展 高岡市教育委員会賞 受賞
- ・ 昭和60年 日本工芸会 第2回木竹新作展 入選
- ・ 昭和63年 日本工芸会 第3回木竹新作展 入選
- ・ 平成2年 日本工芸会 第4回木竹新作展 入選
- ・ 平成17年 瑞宝単光章 受賞

### 6 庄川挽物木地の概要

慶応2（1866）年、飛騨地方や五箇山の木材の一大集散地であった庄川町に越後屋清次が移住し、ロクロ挽物の木地屋を営んだのが庄川挽物木地の始まりと伝えられている。横挽による美しい杓目が特徴で、トチやケヤキなどの国産材を使用した椀や盆、皿などの丸物木地製品の生産や、全国の漆器産地に供給する下地の製造を行っている。

【小西氏作品】



松造松竹梅盆



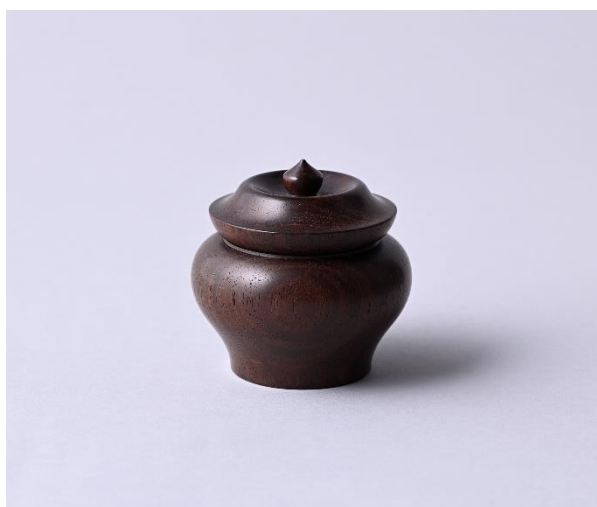
櫟造拭漆瓢筆盆



櫟造五重塔



黒檀造帽子置



黒檀造薬器茶入



竹拭漆茶筒